

5月定例市長記者会見案件（19日開催）

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| ①東北楽天ゴールデンイーグルス1軍公式戦の開催について | （スポーツ課） |
| ②保健所シンクタンクの令和7年度の研究成果について | （健康増進課） |
| ③山形市洪水ハザードマップの改訂及び山形市内水ハザードマップの作成について | （河川整備課） |
| ④不要果樹の伐採等にかかる補助金の交付について | （鳥獣被害対策課） |

〈添付資料〉

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| ①東北楽天ゴールデンイーグルス1軍公式戦の開催について | （スポーツ課） |
| ②保健所シンクタンクの令和7年度の研究成果について | （健康増進課） |
| ③山形市洪水ハザードマップの改訂及び山形市内水ハザードマップの作成について | （河川整備課） |
| ④不要果樹の伐採等にかかる補助金の交付について | （鳥獣被害対策課） |

〈資料のみ〉

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ①イエローグリーンキャンペーンやまがた等の開催について | （健康増進課） |
|-----------------------------|---------|

次回	6月定例記者会見	6月4日（木）	14:30～
次々回	7月定例記者会見	7月17日（金）	14:00～

東北楽天ゴールデンイーグルス1軍公式戦の開催について

5月24日に開催されるファーム・リーグ公式戦に続き、6月23日に1軍公式戦「人が輝く!!敬寿会ナイター 東北楽天ゴールデンイーグルス対埼玉西武ライオンズ」が、きらやかスタジアムを会場に開催されます。山形市では、スポーツ振興による地域活性化を促進するため、官民連携により「楽天イーグルス山形市支援協議会」を設立し、街路灯へのフラッグ設置、デジタルサイネージを活用したPRなど、様々な取組みを進めています。その成果として、このたび、4年連続で1軍公式戦の開催が実現しました。1軍公式戦やファーム・リーグ公式戦を、市民の皆様と一緒に盛り上げながら、ファーム本拠地の誘致に向けた機運醸成を進めます。



記

- 1 期 日 令和8年6月23日（火）午後6時試合開始（午後4時開場）
- 2 会 場 きらやかスタジアム（山形市総合スポーツセンター野球場）
- 3 対戦カード 東北楽天ゴールデンイーグルス 対 埼玉西武ライオンズ
- 4 主 催 楽天野球団、山形新聞・山形放送
- 5 冠 協 賛 社会福祉法人 敬寿会（「人が輝く!!敬寿会ナイター」）
- 6 後 援 山形市、山形市教育委員会、山形県、山形県野球連盟、楽天イーグルス山形市支援協議会
- 7 イベント ○先着5,000名へセカンドユニフォームのプレゼント
○楽天モバイル 最強パーク宮城の飲食店の出店
○楽天イーグルス山形市応援パートナー限定アイテムのプレゼント など
- 8 チケット イーグルスチケット、山形新聞・山形放送本社、支社、山形新聞販売店、セブンチケット、ローソンチケット、イープラス
※チケットの詳細は楽天イーグルス公式HPを参照。



楽天イーグルス公式HP（6/23 1軍公式戦）▶



- 9 来場方法 環境への負荷軽減のため、できるだけ公共交通機関をご利用願います。
- JRをご利用の場合
 - ・最寄り駅 羽前千歳駅（スタジアムまで徒歩15分）
 - 自転車・山形市コミュニティサイクル「ベニちゃり」をご利用の場合
 - ・コミュニティサイクルの臨時ポート増設（山形市総合スポーツセンター）
 - 車をご利用の場合
 - ・山形市総合スポーツセンター第4駐車場
 - ・山形市総合スポーツセンター第5駐車場
 - ・ビッグウイング臨時駐車場
 - ※駐車場の詳細は楽天イーグルス公式HPを参照。
- 10 問合せ先
- 観戦チケット、駐車場について
 - ・山形新聞社事業部 023-642-7955（平日10時～17時）
 - ・楽天野球団チケットセンター 050-5443-2247
（不定休10時～18時）
 - シャトルバスについて
 - ・山交観光 023-641-4567（平日9時30分～18時）
- 11 その他
- 【SUKSK×楽天イーグルス】来場者は500ポイントを獲得できます。
※山形市健康ポイント事業SUKSKの詳細は市HPを参照。

山形市公式HP（SUKSK）▶



- ファーム・リーグ公式戦について
5月24日（日）に開催されるファーム・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス対オイシックス新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」のチケットも販売中です。

楽天イーグルス公式HP（5/24 ファーム・リーグ公式戦）▶





東北シリーズ Supported by 大東建託

このチラシを受け取った!

小学生以下のお子様を

無料招待!



6月23日

2026 パーソルパ・リーグ公式戦
人が輝く!! 敬寿会ナイター

楽天イーグルス vs 埼玉西武

きらやかスタジアム 18:00 試合開始 (16:00 開場予定)

対象

小学生以下の
お子様

価格

無料 ご同伴の保護者の方も
優待価格でご案内!

受付期間 ※定員に達し次第終了

4月20日(日) 10:00 ~ 6月21日(日) 23:59

席種

外野レフト自由エリア・外野ライト自由エリア

お申し込み方法

下記のURLまたは
二次元バーコードから
お申し込み専用サイトにアクセス
<https://r10.to/hgQaVE>



招待は事前申し込みが必要です。

※お申し込みページの注意事項をよくご確認の上、お申し込みください。
※お申し込み後のキャンセル・変更はできません。

セカンドユニフォーム プレゼント!

対象 当日の観戦チケットをお持ちの
先着5,000名様



協賛: 大東建託 R東北楽天 R富士フイルム

※サイズ: Free ※なくなり次第終了
※外野ピッチャー応援エリアレフトの観戦チケットは対象外



好きな席で
観戦したい方は
こちら



クラッチ

前売券は/ イーグルスチケット、山形新聞・山形放送本社・支社、山形新聞販売店で販売中!



お問い合わせ

株式会社 楽天野球団

<https://r10.to/hY4v1k>



保健所シンクタンクの令和7年度の研究成果について

1 シンクタンクの研究について

(1) 概要

山形市では、市民の健康の保持・増進に向けた取組を効果的に推進するため、保健所の医師、保健師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、精神保健福祉士といった専門職と行政職で構成されたシンクタンクを設置しています。

シンクタンクでは、「健康医療先進都市」の確立に向け、健診データやアンケート等により収集した市民の健康に関するデータの科学的な分析や健康課題の抽出・検討等を行い、EBPM（※）に基づいた健康寿命延伸に取り組んでいます。

現在、シンクタンクの様々な研究成果をもとに、健康ポイント事業SUKSKや減塩に係る取組を推進するなど、市民の健康増進に向け各般の取組を進めています。

※EBPM … Evidence-Based Policy Making 証拠に基づく政策立案。

(2) 令和7年度シンクタンク構成

チーフ 保健医療次監（保健所副所長）

サブチーフ 健康医療部健康増進課 1名

スタッフ 健康医療部健康増進課、精神保健・感染症対策室、母子保健課 計23名

(3) 令和7年度取組状況

研究テーマ	担当課	進捗
山形市民の健康診断結果と健康ポイント事業SUKSKの関連について	健康増進課	研究終了
山形市健診受診者における地域別の推定食塩摂取量と食習慣の関連	健康増進課	研究終了
児童生徒のSOSの出し方教育の効果について	精神保健・感染症対策室	研究中
妊婦における歯科健康診査の重要性と低出生体重児との関連性について	母子保健課	研究中
5歳児健康診査における肥満児の3歳児健康診査での肥満度との関連について	母子保健課	研究中

2 令和7年度の研究成果について

(1) 研究テーマ「山形市民の健康診断結果と健康ポイント事業SUKSKの関連について」(別紙1)

(ア) 研究概要

令和6年度に特定健診を受診した山形市国民健康保険加入者14,375人を対象に、SUKSKアプリ登録の有無と健診結果の関連を分析しました。

(イ) 研究結果

SUKSKアプリ登録者は非登録者と比較して健診結果が良好な傾向であり、血圧、BMI値及びHDLコレステロールといった生活習慣病の関連指標の改善に寄与していました。SUKSKアプリの登録により、市民の健康意識が向上し身体活動及び身体運動が促進されることが示唆されました。

(ウ) 研究発表

令和8年3月9日 山形県公衆衛生学会で発表

(2) 研究テーマ「山形市健診受診者における地域別の推定食塩摂取量と食習慣の関連」
(別紙2)

(ア) 研究の概要

令和5年度に市健診受診者の中から推定食塩摂取量検査を希望した1,786名を対象に、市内の居住地区によって食塩摂取状況や食習慣に違いがあるのか分析しました。

(イ) 研究結果

郊外に居住する者は中心部と比較し、食塩摂取量が多い傾向であり、特に女性においてその差が顕著でありました。女性の食塩摂取量には、みそ汁、麺類、漬物を食べる頻度が影響を及ぼすことが示唆されました。特に郊外に居住する女性は、漬物を食べる頻度が高いため、適切な食べ方等について重点的な指導することで、食塩摂取量の減少につながる可能性があります。

(ウ) 研究発表

令和8年3月9日 山形県公衆衛生学会で発表

3 今後のシンクタンクの展開について

シンクタンクにおける研究成果について、市民へ分かりやすく周知するとともに、既存データに加え、健診情報等を活用し、多角的な視点から調査研究を推進していきます。

さらに、研究結果を踏まえた根拠に基づく施策の検討・立案を行い、その成果を市民へ還元することで、市民の健康増進と地域の健康課題の解決につなげていきます。

問い合わせ先
健康医療部健康増進課健康計画推進係
Tel 023-616-7270 (直通)

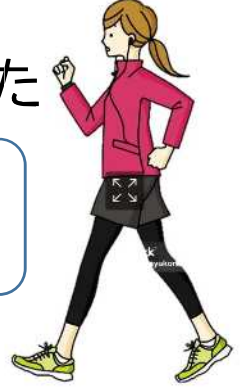
山形市保健所シンクタンク研究レポート

第52回山形県公衆衛生学会発表

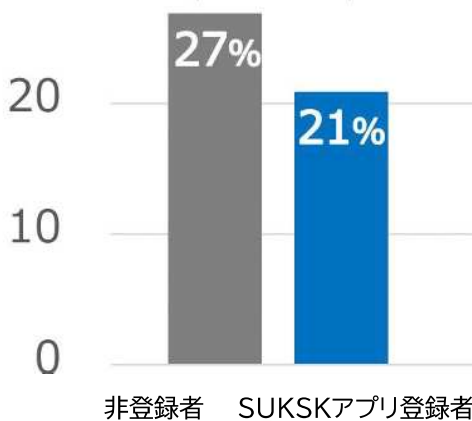


アプリを使っている人は、健康診断の結果が良好な傾向でした

2024年度に特定健診を受診した山形市民を対象に
SUKSKアプリ登録の有無と健康状態の関連を分析(※1)



高血圧の人の割合(%)



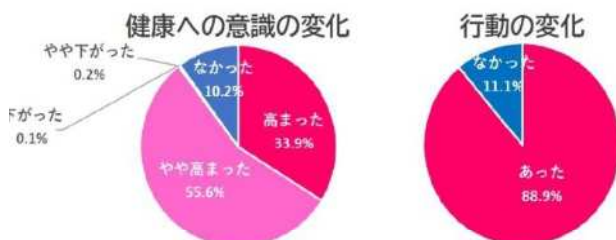
SUKSKアプリ登録者は、非登録者に比べ、**高血圧(※2)が有意に少ない**結果でした

BMI(※3)、HDLコレステロール(※4)においても、**SUKSKアプリ登録者の方が健診結果が良好**な傾向があることが分かりました

SUKSK
アプリ登録健康意識
の向上継続的な
ウォーキング健診結果にプラスの
影響を与える可能性

SUKSKアプリの登録により、健康意識が向上し、身体活動及び身体運動が促進されることが示唆されました。

SUKSKアプリ利用者の約9割に健康意識の向上と行動変容がみられました



SUKSKアプリ登録者アンケート結果(一部編集)
実施月R5.8月、回答者数2,906人、回答率約30%

回答者の約9割が健康意識の向上、また、約9割に行動変容が見られた

健康先進医療都市を目指した様々な取組の結果、市民の健康寿命がのびています



(出典)山形市健康プラン2035

(※1)分析対象:国民健康保険加入者のうち、2024年度に特定健診を受診した40歳~74歳の14,375人。

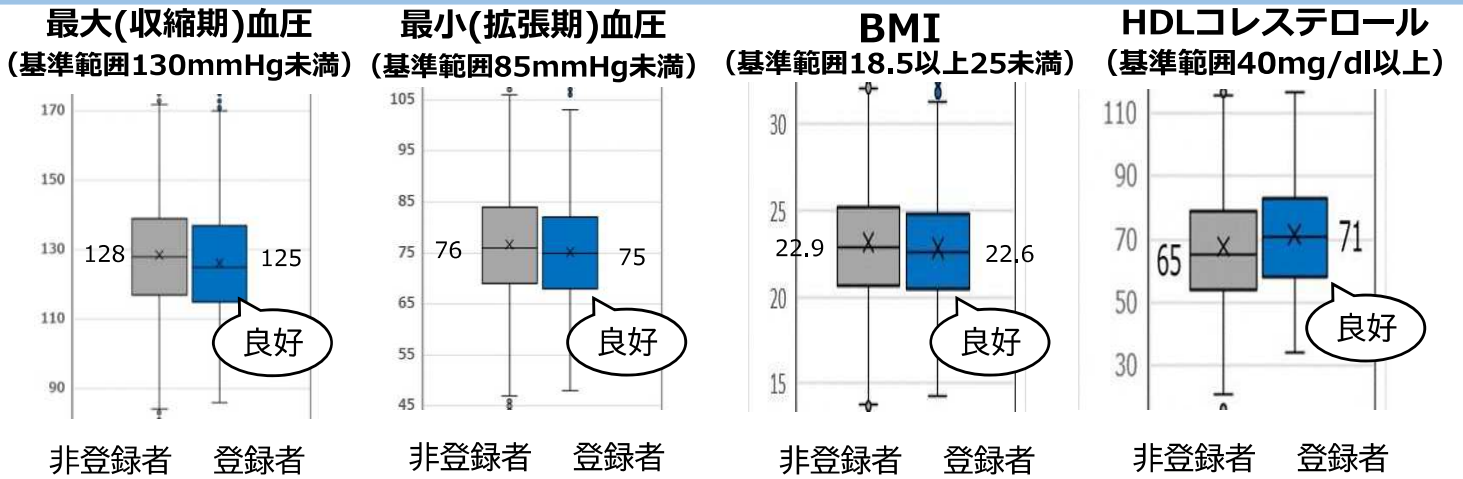
アプリ登録者とは、月に1日以上歩数データがあり、かつ月の平均歩数が100歩未満または50000歩以上の者を除いたもの。

(※2)高血圧:最大血圧140mmHg以上、または最小血圧90mmHg以上とした。

(※3)BMI:体型の指標。

(※4)HDLコレステロール:善玉コレステロールともいい、血管を守る働きをし、動脈硬化を防ぎます。

血圧・BMI・HDLコレステロールもSUKSKアプリ登録者の方が良好な傾向でした



毎日の健康習慣を見える化！SUKSKアプリの6つポイント

<p>歩いた歩数が見える</p> <p>国が示す1日の目標歩数は、成人は8000歩、高齢者は6000歩</p>	<p>歩数に応じたSUKSKポイントがもらえる</p>	<p>ランキングやフレンド機能で家族や友達と競い合える</p>
<p>ポイントアップデーなどの楽しく続けられるしかけ</p>	<p>血圧や体重などの日々の健康記録を入力できる</p>	<p>健診結果と日々の歩数をAIが分析してアドバイス</p>

💡 日々の変化をチェックすることで、①小さな変化に気づくことができる②生活習慣の改善に役立つ③医療機関での相談がスムーズになるなどのメリットがあります。



アプリの登録がまだの方は
普段お使いのスマートフォンに
ダウンロード



SUKSKアプリ
(けんこうマイレージ)



山形市では、医師である市保健所長及び副所長のもと、保健師や管理栄養士等で構成するシンクタンク(研究機能)により市民の健康データを分析し、科学的根拠に基づいた政策立案に取り組んでいます。

山形市保健所シンクタンク研究レポート

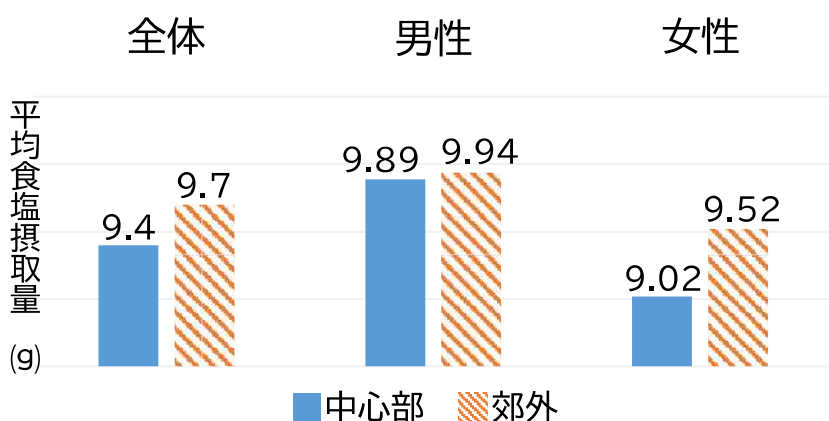
市の健診受診者の地域別の推定食塩摂取量と食習慣の関連について分析しました

第52回山形県公衆衛生学会発表

山形市民の居住地区別の推定食塩摂取量を把握するため、令和5年度の特定健診と、すこやか健診受診者のうち、希望者1,786名に対し、健診時の尿を利用し推定食塩摂取量検査を実施しました。

居住地区別の平均食塩摂取量の結果

(令和5年度推定食塩摂取量検査より)



食塩摂取量の目標値

国の目標値

(日本人の食事摂取基準2025)

男性 **7.5g** 未満女性 **6.5g** 未満

山形市の目標値

(山形市健康プラン2035)

男性 **8.8g**女性 **8.0g**

- 中心部※1よりも **郊外※2の食塩摂取量が多い**傾向が示されました。

※1 旧市の第1～第10地区 ※2 旧市の第1～第10地区以外の地区

食品摂取頻度と食塩摂取量の関連

推定食塩摂取量検査(※)を希望した方には、食習慣の傾向を把握するため、塩分チェックシートへ回答していただきました。その結果から、どのような食品から食塩を摂取することが多いのか傾向を分析しました。
※推定食塩摂取量検査については、本資料P2の中段参照。

- 男性は、食品の摂取頻度と食塩摂取量に有意な関連はみられませんでした。

- 女性は、以下の3つの項目について

摂取頻度が高いほど食塩摂取量が多いことが示唆されました。

- 漬物・梅干しなどを食べる頻度
- めん類を食べる頻度
- みそ汁・スープなどを食べる頻度



塩分チェックシート



これらの食品を食べる量や頻度を減らすことで食塩摂取量を減らすことができます。

- さらに女性は、以下の項目で**摂取頻度に地域差がみられました**。

- 漬物や梅干しなどを食べる頻度が**郊外で高い**。
- 昼食で外食やコンビニ弁当などを食べる頻度が**中心部で高い**。
- 夕食で外食やお惣菜などを食べる頻度が**中心部で高い**。

山形市では「ナトカリバランス」を意識した食生活を推進しています

$$\text{ナト / カリ 比} = \frac{\text{ナトリウム}}{\text{カリウム}}$$

尿中ナトカリ比が低くなるほど
高血圧のリスクが低下することが報告されています。

食事のナトリウムとカリウムのバランスに気をつけましょう

ナトリウム (食塩や調味料に多い)



とりすぎ ▶ 高血圧 ▶ 動脈硬化
腎臓病
胃がんなどの原因に

カリウム (野菜や果物、いも類に多い)



ナトリウムの
体の外への排泄をうながす

日本人は平均的にナトリウムの摂取が多くカリウムの摂取が不足しています。

※ 腎臓病治療中の方はカリウム制限が必要な場合があります。医師や管理栄養士に相談してください。

山形市の取り組み ① **推定食塩摂取量検査**を実施しています

■ 推定食塩摂取量検査とは？

尿検査から、尿中ナトリウム値、尿中クレアチニン値を調べます。年齢・身長・体重と共に計算式に当てはめ、1日の食塩摂取量を算出します。この検査では、あわせて尿中ナトカリ比も調べることができます。

■ 山形市の推定食塩摂取量検査の取り組み

未就学児から高齢者まで、幅広い年代を対象に検査を実施しており、その結果を健康づくり事業に活かしています。広く市民の方に検査を受けていただけるよう、講座やイベントにあわせて検査を実施しています。

検査は無料です！ 詳しくは山形市のホームページをご覧ください。



山形市の取り組み ② **SUKSKナトカリバランスレシピ集**を作成しました



令和7年度にナトカリバランスをテーマに「SUKSKレシピコンテスト」を開催し、コンテストで入賞したレシピを含む13品をまとめレシピ集を作成しました。塩分控えめ、野菜や果物を取り入れたメニューです。ぜひご家庭でお試ください。



レシピ集は、山形市保健所や山形市役所、各地域の公民館、コミュニティセンター等で配布しております。また、山形市役所ホームページでもレシピを公開しています。

山形市の減塩キャッチコピーを決定しました！

ソルトOFF & ナトカリバランスでスマイルON！

「減塩を意識して健康を守りつつ、笑顔を大切にしよう」という意味が込められています。山形市では今後も減塩と野菜摂取を意識した食生活を啓発していきます。



HPIはこちら

山形市洪水ハザードマップの改訂及び山形市内水^{ないすい}ハザードマップの作成について

近年、想定を超える大雨や局地的豪雨により、全国各地で毎年のように水害が発生しています。

こうした中、国では、激甚化・頻発化する水害に対応するため、令和3年に水防法を改正し、ハザードマップ掲載の対象となる河川を、洪水予報河川や水位周知河川などの一部の大きな河川から、全ての一級河川や雨水管などにまで拡大しました。

これを受け山形市では、今年4月に、想定し得る最大規模の雨が降った際の一級河川の氾濫を想定した「洪水浸水想定区域」をもとに、「山形市洪水ハザードマップ」の改訂を行いました。さらに、雨水管や水路からの浸水(内水氾濫)を想定した「雨水出水浸水想定区域」をもとに、新たに「山形市内水^{ないすい}ハザードマップ」を作成しました。内水に特化したハザードマップを作成し配布するのは、県内自治体では山形市が初となっております。

いざという時の迅速な避難と被害の軽減に向け、市民の皆様にご覧いただき、日頃から水害に備えていただくため、これらのハザードマップの全戸配布を行うとともに、各地区での説明会を開催し、広く周知を行います。

1 山形市洪水ハザードマップの改訂

(1)概要(洪水ハザードマップとは)

河川が氾濫した場合に、どの地域がどの程度浸水する可能性があるのかを「見える化」することで、住民に洪水リスクを正しく理解してもらい、迅速で適切な避難行動を促すため、浸水想定区域や避難場所、避難経路を「洪水ハザードマップ」に示しています。

(2)改訂の主なポイント

- ①対象河川の拡大並びに、「雨水出水浸水想定区域」の追加
「洪水浸水想定区域」の対象となる河川を、市内を流れる全ての1級河川(31河川)に拡大するとともに、雨水管や水路からの浸水(内水氾濫)を想定した「雨水出水浸水想定区域」を追加し、想定される全ての水害リスクを網羅した洪水ハザードマップとしました。

②より分かりやすく、より使いやすい構成に改訂

避難行動に必要な自宅の浸水想定や避難場所などを確認するにあたり、より分かりやすい構成に変更するとともに、避難行動計画(マイ・タイムライン)を簡単に作成できるよう、従来の記述形式から、チェックリスト形式に変更しました。



2 山形市内水ハザードマップの作成【新規】

(1)概要(内水ハザードマップとは)

大雨時に排水能力を超えて、道路や住宅地に水があふれる「内水氾濫」の危険性を周知し、迅速で適切な避難行動を促すため、浸水しやすい区域や想定される浸水の深さ、注意すべき行動を「内水ハザードマップ」に示しています。山形市では、令和3年の水防法の改正を受け、このたび新たに作成しました。内水に特化したハザードマップを作成し配布するのは、県内自治体では山形市が初となっております。



(2)主なポイント

「内水氾濫」は、河川の氾濫による洪水に比べ、局地的豪雨などにより、急に発生するケースが多く、河川から離れた場所でも浸水する可能性があるとともに、事前の備えが、より重要になります。

内水ハザードマップでは、住民に「内水氾濫」による自宅や職場などの浸水リスクを認識してもらい、自治体からの避難指示が出る前の行動を事前に考えていただくため、日頃からできる浸水への備え等を紹介するとともに、洪水ハザードマップよりも浸水深の区分を細分化し掲載しています。

3 周知

ハザードマップの全戸配布や説明会の開催、SNS 等での情報発信により、広く周知を行います。

(1)全戸配布(約118,000部)

5月下旬から6月末までの期間に、ポスティングにより全戸配布を行います。

(2)説明会

7月から市内全地区において説明会を開催し、洪水ハザードマップ及び内水ハザードマップのポイント等について、市民向けに説明を行います。

ハザードマップに関する情報は、山形市のホームページからも確認できます。

下記 URL または二次元コードからサイトにアクセスしてください。



「山形市洪水ハザードマップ(洪水避難地図) データ」

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/kurashi/bousai/1006404/1006408/1002195.html>



「山形市内水ハザードマップ」

<https://suidou.yamagata.yamagata.jp/soshiki/11/1012676.html>

問い合わせ先
都市整備部河川整備課河川整備係
TEL 023-641-1212 内508

山形市内水ハザードマップの訂正について

【訂正のお願い】

令和8年4月28日に公表した『山形市内水ハザードマップ』につきまして、避難所の使用の可否に誤りがありました。以下のとおり訂正いたします。

ハザードマップをご活用いただく際は、誠に恐れ入りますが、以下の訂正箇所をあわせてご確認くださいませようお願い申し上げます。

【訂正前】

東部公民館および福祉文化センターが、使用できない避難所になっておりました。



【訂正後】

東部公民館および福祉文化センターは、避難所として使用できます。



問い合わせ先
都市整備部 河川整備課 雨水管理係
Tel.023-641-1212 内624

不要果樹の伐採等にかかる補助金の交付について

山形市では、昨年度に引き続き、ツキノワグマをはじめとする野生鳥獣の市街地等への出没抑制のため、柿や栗の木など、野生鳥獣の誘引物となる不要果樹の伐採及び処分にかかる費用の補助を行います。

今年度は、市民の皆様のさらなる費用負担の軽減を図り、不要果樹の適正管理を促進するため、1本あたりの補助金額の上限を4万円に増額し、6月15日(月)から申請の受付を開始します。

1 補助対象者 町内会・自治会等又は個人

2 補助金額【拡充】

補助対象経費の3分の2に相当する額と不要果樹の伐採本数に4万円を乗じて得た額のいずれか低い額(上限額4万円/本) ※R7年度上限額2万円/本

3 補助対象経費

例・機械等の賃借料、消耗品費、燃料費

- ・作業員への日当、保険料
- ・伐採した樹木の処分にかかる経費(運搬費を含む)
- ・業者委託にかかる経費 ほか

4 補助要件

- ・最寄りの住家より水平距離200メートル以内の範囲にあること
- ・伐採等実施することに関し、当該果樹の所有者の同意があること
- ・令和9年1月31日までに、伐採等を完了すること
- ・国、県等の類似の補助金制度等により支援を受けていないこと

5 申請受付期間

令和8年6月15日(月)から令和8年7月31日(金)まで

※先着順

6 申請方法

市役所10階 鳥獣被害対策課窓口へ申請書類を提出(申請時に必要書類や申請要件の確認のため、窓口提出としています。電話・郵送・メールによる申請の受付は行いません。)

※申請書類については、山形市公式ホームページにてダウンロードいただけるほか、鳥獣被害対策課窓口での配付も行います。

問い合わせ先

環境部鳥獣被害対策課自然共生係

TEL023-641-1212 内683、647